

授業科目	倫理学	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次前期	担当者	本家 淳子
								職種	専門看護師
授業のねらい・目標	倫理的な問題に関する基本的な知識を身につけ、議論できる能力を養う 1. 人間の生死について考えを深めることができる 2. 倫理的な問題に関する基本的知識を身につける								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当	
		1	倫理学の基本的な考え方①				講義	本家	
		2	倫理学の基本的な考え方②				講義	本家	
		3	生命・医療倫理の基礎				講義	本家	
		4	生殖医療の生命倫理①ー人工妊娠中絶ー				講義	本家	
		5	生殖医療の生命倫理②ー生殖補助医療ー				講義	本家	
		6	死の生命倫理ー安楽死ー				講義	本家	
		7	遺伝子医療をめぐる倫理ー遺伝子医療ー				講義	本家	
		8	試験				試験	本家	
評価方法	筆記試験、各講義ごとのアンケートの提出を通して評価する。								
履修上の注意	積極的に質問・ディスカッションする姿勢をもってください。								
テキスト									
参考図書	赤林朗編, 入門医療倫理 I (改訂版), 勁草書房, 2017年.								

授業科目	情報科学 I	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次前期	担当者	出口 憲
								職種	
授業のねらい・目標	<p>情報とICT機器の活用方法を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報とは何かを説明できる。 ○情報モラルとセキュリティーについて理解している。 ○キーボード入力の問題なくできる。 ○基本的な文書作成ができる。 ○ネットの基本的な活用ができる。 								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当	
		1	情報の定義と特徴 情報モラルと情報セキュリティー				講義	出口	
		2	コンピュータの仕組み－ハードウェアとソフトウェア Windowsの基本操作				講義	出口	
		3	キーボード入力の方法 Wordの基本操作				講義	出口	
		4	Wordを用いた文書作成－箇条書き、表、画像の挿入				講義	出口	
		5	Wordを用いた文書作成－見出しの活用				講義	出口	
		6	インターネットの仕組みと注意点 ネットの活用－電子メールの使い方と注意点				講義	出口	
		7	ネットの活用－検索エンジンの利用、SNSの種類と特徴 ネットの活用－モラルとセキュリティー				講義	出口	
		8	まとめと実技試験					出口	
評価方法	<p>「授業の目標ねらい」に示した項目に関連する課題:70%</p> <p>授業で行ったことに関する実技試験:30%</p> <p>合計:100%で評価します。</p>								
履修上の注意	<p>仕事をする上でコンピュータの利用は避けて通れません。情報科学2と併せて履修することで、仕事をしていくために必要なスキルを身につけましょう。</p>								
テキスト	<p>中山和弘著者代表, 系看 別巻 看護情報学, 医学書院</p>								
参考図書	<p>太田勝正、前田樹海, エッセンシャル看護情報学 第3版, 医歯薬出版</p>								

授業科目	情報科学Ⅱ	単位	単位	時間数	30時間	講義時期	2年次前期	担当者	出口 憲	
								職種		
授業のねらい・目標	情報科学1で学んだ内容をもとに、情報に関する実践的な活用を学ぶ。 ○医療と看護に必要な情報が説明できる。 ○簡単な統計処理ができる。 ○プレゼンテーション資料の作成ができる。 ○ネットを活用したリモートワークができる。									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当		
		1	医療と看護に必要な情報とは何か				講義	出口		
		2	患者の権利と個人情報の保護				講義	出口		
		3	既存の情報の収集－検索エンジンの活用				講義	出口		
		4	Excelの基本操作				講義	出口		
		5	Excelによる統計解析－データ処理				講義	出口		
		6	Excelによる統計解析－推定と検定				講義	出口		
		7	Excelによる統計解析－回帰直線と相関係数				講義	出口		
		8	PowerPointの基本操作				講義	出口		
		9	PowerPointによるプレゼンテーション資料の作成				講義	出口		
		10	リモートワークの利点と欠点				講義	出口		
		11	ネットの活用－クラウドサービス				講義	出口		
		12	ネットの活用－オンライン授業での課題提出				講義	出口		
		13	ネットの活用－ファイル共有の方法				講義	出口		
		14	ネットの活用－ビデオ会議				講義	出口		
		15	まとめと実技試験					出口		
評価方法	「授業の目標ねらい」に示した項目に関連する課題:70% 授業で行ったことに関する実技試験:30% 合計:100%で評価します。									
履修上の注意	一部はオンライン授業を実施する予定です。これからはリモートワークが一般化すると考えられますから対応できる力をつけましょう。									
テキスト	中山和弘著者代表, 系看 別巻 看護情報学, 医学書院									
参考図書	太田勝正、前田樹海, エssenシャル看護情報学 第3版, 医歯薬出版									

授業科目	教育学	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	1年次後期	担当者	鈴木三平	
								職種		
授業のねらい・目標	<p>人間の成長にかかわる教育の機能について理解を深め、看護における教育・指導について考える基礎を養う</p> <p>1. 人間形成に必要な教育とは何かについて学ぶ 2. 教育のどのような働きがけがその人の発達を促すことになるのかを学ぶ</p>									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当		
		1	学ぶこと・教えること	ケアの概念		講義	鈴木			
		2	ケア理論的モデル			講義	鈴木			
		3	ケア論の中の人間形成			講義	鈴木			
		4	ケアと相互応答性			講義	鈴木			
		5	健康のケアの類型			講義	鈴木			
		6	社会的倫理としてのケア			講義	鈴木			
		7	健康と教育			講義	鈴木			
		8	健康教育の歴史と健康教育の概念			講義	鈴木			
		9	健康と教育の場			講義	鈴木			
		10	学校保健の活動			講義	鈴木			
		11	学校保健の広がり			講義	鈴木			
		12	学校でのケア			講義	鈴木			
		13	健康教育の現代像			講義	鈴木			
		14	エンパワーメントとアドボカシー			講義	鈴木			
		15	試験				鈴木			
評価方法	筆記試験									
履修上の注意	次回の講義範囲の事前学習									
テキスト	荒川智編, 新体系看護学全書 教育学, メヂカルフレンド社									
参考図書	授業時に適宜紹介									

授業科目	心理学	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次後期	担当者	村田 桂子
								職種	臨床心理士
授業のねらい・目標	1. 心理学の基礎を学び、人間の心理や行動のしくみとその背景、人間関係の理解に役立てる。 2. 個人の心理、集団の心理について学ぶ。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当	
		1	感覚・知覚の心理				講義	村田	
		2	学習・記憶の心理				講義	村田	
		3	感情・動機の心理				講義	村田	
		4	性格・知能の心理				講義	村田	
		5	性格・知能の心理				講義	村田	
		6	発達心理				講義	村田	
		7	発達心理 社会集団の心理				講義	村田	
		8	試験					村田	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	長田久雄編, 看護学生のための心理学, 医学書院								
参考図書									

授業科目	人間関係論	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	1年次前期	担当者	高岡しの	
								職種		
授業のねらい・目標	<p>基本的な人間関係に関する理論を学び、看護の基本となる対象者との援助的人間関係、および組織における人間関係の形成について理解を深める。また人と関わる上で不可欠な自己理解や他者理解について考え、グループワークなどを通してコミュニケーションについても理論とスキルを体験的に学習する。</p>									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当		
		1	人間関係とは				講義・演習	高岡		
		2	自己理解と他者理解①				講義・演習	高岡		
		3	対人関係の基礎				講義・演習	高岡		
		4	コミュニケーションとは				講義・演習	高岡		
		5	人間関係の諸相①				講義・演習	高岡		
		6	人間関係の諸相②				講義・演習	高岡		
		7	集団における人間関係				講義・演習	高岡		
		8	対人援助における人間関係				講義・演習	高岡		
		9	コミュニケーションスキル				講義・演習	高岡		
		10	傾聴と共感				講義・演習	高岡		
		11	コーチングとアサーションスキル				講義・演習	高岡		
		12	自己理解と他者理解②				講義・演習	高岡		
		13	セルフマネジメント①				講義・演習	高岡		
		14	セルフマネジメント②				講義・演習	高岡		
		15	試験・まとめ				試験・講義	高岡		
評価方法	筆記試験									
履修上の注意										
テキスト										
参考図書	授業内で適宜紹介します									

授業科目	人間力育成 I	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次	担当者	萬屋 村松 増田 片川 菅ヶ谷 鈴木 杉山 五條
								職種	
授業のねらい・目標	<p>人間力形成の科目では、周囲の人々への気配りや心遣いを大切に、良好な関係を築くことができるよう基本的な態度を習得することを目的とし段階的に学習をすすめる。</p> <p>1、社会人となるための基礎的な知識・技術・態度を理解する。 1) 信頼関係の形成に必要な接遇のスキルを身に付ける 2) 看護の対象者となる人々がくらす地域の産業や祭事を知る 3) 年金や経済等を学び、社会の仕組みや財源、消費生活者としての知識を高める 4) 自己の学習・経験を形に残していくことができる</p>								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当	
		1	接遇研修(人間関係を築くマナーの基本・実践)				講義・演習	村松美紀(中北薬品マナーインストラクター)	
		2	接遇研修(コミュニケーション、講師への対応方法)				講義・演習	村松美紀(中北薬品マナーインストラクター)	
		3	ポートフォリオについて(学習の積み上げに関すること含む)				講義	増田幸子	
		4	島田市の文化・芸能を知る(帯祭り・鬘祭りほか)				講義	片川準二(島田市役所観光課)	
		5	島田市お茶セミナー(お茶の効果・効能、入れ方)				講義・演習	五條勝太(島田市役所農業振興課)	
		6	消費生活セミナー、年金セミナー				講義	菅ヶ谷香代, 鈴木佳之 (島田市役所生活安心課) 杉山勝人(日本年金機構)	
		7	他者から見た自分・振る舞いについて、まとめ				講義・演習	増田幸子	
		8	国の財政について (45分)				講義	萬屋副市長	
評価方法	出席状況とレポート課題、パーソナルポートフォリオの提出状況								
履修上の注意	講座によっては服装の指定や持ち物があるかもしれません。掲示板などの情報・連絡を確認してください。								
テキスト	心にとどくマナーの基本(中北薬品株式会社)接遇研修初回に購入します。								
参考図書									

授業科目	人間力育成Ⅱ	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	2年次	担当者	村松美紀・大谷桃子 皆川友香・水野翔太
								職種	
授業のねらい・目標	<p>人間力形成の科目では、周囲の人々への気配りや心遣いを大切にし、良好な関係を築くことができるよう基本的な態度を習得することを目的とし段階的に学習をすすめる。</p> <p>1. 集団の中での関係構築や自分自身の感情コントロールを身に付ける。</p> <p>2. 対象の変化や思いを汲み取るための感性を養う。</p> <p>1) 対象に良い印象を与える接し方や、おもてなしの精神をホテルマンから学び、専門職としてのプロフェッショナルについて考えることができる。</p> <p>2) 看護を介して人と関わる職業に就く者として感性を高め、テーブルマナーや洗練した立振る舞いを学ぶ。</p>								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当	
		1	接遇研修(アサーション等)				講義・演習	村松美紀(中北薬品 マナーインストラクター)	
		2	接遇研修(アンガーマネジメント)				講義・演習	村松美紀(中北薬品 マナーインストラクター)	
		3	就活スタートアップ講座(就活の進め方、病院情報の集め方、インターンシップについて)				講義・演習	大谷桃子(マイナビメディア カルキャリアサポーター)	
		4	小論文の書き方講座				講義・演習	大谷桃子(マイナビメディア カルキャリアサポーター)	
		5	履歴書の書き方・面接マナー講座				講義・演習	大谷桃子(マイナビメディア カルキャリアサポーター)	
		6	テーブルマナー、ホテルマンから学ぶプロフェッショナルとは				講義・演習	皆川友香 (日本平ホテル)	
		7	おもてなし・敬語の使い方・立ち振る舞い、第1印象の大切さなど				講義・演習	水野翔太 (日本平ホテル)	
		8	まとめ				講義	山本淳子	
	評価方法	出席状況とレポート課題、演習の参加状況							
履修上の注意	マイナビの講座では、講義前に課題が出る可能性があります。講座によっては現地集合・解散となりますのでオリエンテーションが入る場合があります。掲示板などの情報・連絡を確認してください。								
テキスト	1年次接遇研修で購入した冊子『心にとどくマナーの基本(中北薬品株式会社)』を使用します。								
参考図書									

授業科目	人間力育成Ⅲ	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	3年次後期	担当者	村松美紀 栞原和恵 塩坂拓也
								職種	
授業のねらい・目標	<p>人間力形成の科目では、周囲の人々への気配りや心遣いを大切にし、良好な関係を築くことができるよう基本的な態度を習得することを目的とし段階的に学習をすすめる。専門職業人として社会へ踏み出し、自己を高めていくためのスキルを身に付けたい。</p> <p>1. 社会人となるための基礎的な知識・技術・態度を理解する。</p> <p>1) 信頼関係の形成の基盤となる接遇スキルを高める。</p> <p>2) 視野を広げ様々な出来事に関心を持つことができる。</p> <p>3) 社会人基礎力を高め、社会に踏み出し看護師として働くための力や自己コントロールするためのノウハウを身につける</p>								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当	
		1	接遇研修(医療接遇の重要性が理解できる。自らの考えにとらわれることなく、意見の違いや立場の違いを理解し、相手を尊重しながら、冷静かつ円滑に議論できる)				講義・演習	村松美紀 (中北薬品マネージャーインストラクター)	
		2	接遇研修(セルフコントロール・粘り強く積み重ねていける力)コントロールするための方法(瞑想、思考転換の方法など)このような内容が入るといいか				講義・演習	村松美紀 (中北薬品マネージャーインストラクター)	
		3	看護師に必要な力を身につけよう① 社会に関心をよせ、医療の動向を知る				講義・演習		
		4	看護師に必要な力を身につけよう② 社会に関心をよせ、医療の動向を知る				講義・演習		
		5	看護師に必要な力を身につけよう③ 情報共有するために必要な読む力・書く力・伝える力				講義・演習		
		6	消費者教育セミナー				講義	塩坂	
		7	看護協会・ナースセンターの事業紹介と就業継続				講義	栞原	
		8	まとめ				講義	栞原	
評価方法	出席状況と演習参加状況、レポート								
履修上の注意									
テキスト									
参考図書									

授業科目	健康とスポーツ	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次前期	担当者	瀧本 厚子	
								職種		
授業のねらい・目標	生涯を通じて、健康と豊かなライフスタイルを形成できる能力を身につける 1. スポーツの基本技術を習得して、自己の健康管理や健康の維持増進に役立てる 2. 身体を動かしながら、人の運動生理機能について考察することができるようになること 3. スポーツを通して、仲間との連携を深め、協力し合うなどの社会性や親和性を身に着ける									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当		
		1	ガイダンス 授業説明 バレーボール 運動の処方について				実技	瀧本		
		2	バレーボール カルボネン法を用いた運動強度の測定				実技	瀧本		
		3	バレーボール 万歩計を用いた消費カロリーの推定				実技	瀧本		
		4	バレーボール 基本のプレー サーブ カット アタック				実技	瀧本		
		5	バレーボール リーグ戦 運動と水分補給について				実技	瀧本		
		6	バレーボール リーグ戦 ケガの予防と応急処置				実技	瀧本		
		7	バドミントン 基本の打法 転倒予防のストレッチ				実技	瀧本		
		8	バドミントン 攻撃の打法 転倒予防のストレッチ				実技	瀧本		
		9	バドミントン ダブルスゲーム 足関節のリハビリについて				実技	瀧本		
		10	バドミントン ダブルスリーグ戦 カルボネン法で測定				実技	瀧本		
		11	バドミントン ダブルスリーグ戦 万歩計で測定				実技	瀧本		
		12	卓球 基本の打法 高齢者の為のリハビリと卓球について				実技	瀧本		
		13	卓球 シングルのゲーム カルボネン法で測定				実技	瀧本		
		14	卓球 シングルのゲーム 万歩計で測定				実技	瀧本		
		15	卓球 ダブルスゲームの進め方 テスト				実技	瀧本		
評価方法	受講態度50% 受講記録とテスト30% 親和性や技術の向上20%									
履修上の注意	スポーツにふさわしい体操着と体育館シューズの着用をお願いします。肩よりも長い髪はまとめて結び、接触により破損したり、人を傷つける可能性のある装飾品は授業中、身に着けないように協力してください。受講前後の手洗いとうがいを徹底し、感染症対策をお願いします。									
テキスト	なし									
参考図書	なし									

授業科目	生活科学	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	1年次前期	担当者	増田 啓子 他	
								職種		
授業のねらい・目標	<p>授業の到達目標及びテーマ 到達目標:1 豊かな日常生活の在り方・考え方を養うとともに、看護において患者やその家族に生活上のアドバイスのできる能力を養う。 授業の概要 生活組織としての家庭の在り方と家族の発達、ライフサイクルの変化と生活設計、共働き家庭を実現するワーク・ライフ・バランス、生活習慣としての食生活の重要性について実践を交えながら理解する。</p>									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当		
		1	ガイダンス・生活科学とは				講義	増田		
		2	変化するライフサイクル				講義	増田		
		3	家庭と経済:ライフプラン				講義	増田		
		4	家庭と経済:就業形態と生涯年収				講義	増田		
		5	少子高齢社会と家族・家庭の変化				講義	増田		
		6	生活習慣と学習の自立				講義	増田		
		7	男女が共同で働き子育てできる社会				講義	増田		
		8	生活における栄養の基礎				講義	増田		
		9	健康における食生活の意義				講義	増田		
		10	家族のコミュニケーションのあり方				講義	増田		
		11	静岡県の災害対策、身近な防災対策				講義	伊熊		
		12	避難所運営ゲームを通し、災害時の課題を知る				講義・演習	伊熊		
		13	家族を支える法				講義	増田		
		14	子育て支援サービスの現状と課題				講義	増田		
		15	講義のまとめ:小テストにより講義の総括をし、生活科学の意義を再確認する				講義	増田		
評価方法	レポート(50%)、小テスト(50%)で評価する。									
履修上の注意										
テキスト	新版 福祉のための家政学-自立した生活者を目指して- 中川英子編著 建帛社									
参考図書										

授業科目	表現と論理	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	1年次前期	担当者	小野田貴夫	
								職種		
授業のねらい・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の主な二つの様式(モード)、物語モード／論理科学的モードの違いとそれぞれのメリットを理解する ・論理的思考にそって、ものごとを表現し、伝えることができるようになる ・カンファレンスを想定した議論方法・コミュニケーション力を身に着ける。 									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当		
		1	私はどのように表現しているのか(性格と表現について)				講義	小野田		
		2	思いついたことを語り、まとめる方法(mindmapの描き方)				講義	小野田		
		3	論理的思考とは				講義	小野田		
		4	物語的な表現について				講義	小野田		
		5	論理的な表現について				講義	小野田		
		6	事例検討会・カンファに必要なコミュニケーション方法				講義	小野田		
		7	論理的ピラミッドを使う／論理的ピラミッドを使う				講義	小野田		
		8	論理的問題解決／論理的ツリーを使う				講義	小野田		
		9	意見をまとめ伝えること(論理的思考の実践1)				講義	小野田		
		10	耳を傾ける・理解すること(論理的思考の実践2)				講義	小野田		
		11	抜け・もれ・だぶりの発見と批判(論理的指導の実践3)				講義	小野田		
		12	模擬カンファレンス(事例A)／伝える技術				講義	小野田		
		13	模擬カンファレンス(事例B)／聞く・理解する技術				講義	小野田		
		14	模擬カンファレンス(事例C)／批判と合意に至る技術				講義	小野田		
		15	試験				講義	小野田		
評価方法	講義時の小レポートと最終試験									
履修上の注意	毎回の講義で、A4白紙のコピー用紙を4枚～5枚用意してください。									
テキスト	小野田貴夫著『文章作成一歩前』									
参考図書	J.ブルーナー, 意味の復権, ミネルヴァ書房, 2016 M.ホワイト, ナラティブ実践地図, 金剛出版, 2009 P.ブルデュー, 話すということ, 藤原書店, 1993									

授業科目	家族社会学	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次後期	担当者	志田 倫子	
								職種		
授業のねらい・目標	現代家族の構造と機能を学び、家族の問題を考え、援助につなげられる能力を養う 1. 現代家族の構造と機能を理解する 2. 現代家族のもつ問題について考えることができる									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当		
		1	社会学とは				講義・演習	志田		
		2	家族をめぐる基本概念 家族システム				講義・演習	志田		
		3	昔の家族				講義・演習	志田		
		4	近代家族①				講義・演習	志田		
		5	近代家族② 現代の家族①				講義・演習	志田		
		6	現代の家族② 男女共同参画社会				講義・演習	志田		
		7	家族と地域				講義・演習	志田		
		8	試験					志田		
評価方法	筆記試験									
履修上の注意										
テキスト	山崎喜比古他, 系看:基礎分野 社会学, 医学書院									
参考図書										

授業科目	英語	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次前期	担当者	小原 純子	
								職種		
授業のねらい・目標	<p>語学の基礎能力を高め、読解力および会話ができるように学ぶ</p> <p>1. 英語の4技能を増強し、総合的なコミュニケーション能力を高める。 2. 看護の場面で使われる英語の語彙や表現を学び、看護に必要な英会話の基本を習得する。</p>									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当		
		1	聞き返す表現				講義	小原		
		2	簡単な情報を得るための表現				講義	小原		
		3	ていねいな質問の仕方・数字の読み方				講義	小原		
		4	診療申込書記入の際の質問の仕方・診療科名				講義	小原		
		5	道順を尋ねたり教えたりするための表現				講義	小原		
		6	病院の案内をするための表現				講義	小原		
		7	症状・期間・回数を尋ねる表現・症状と徴候の表現				講義	小原		
		8	症状の進行具合を尋ねる表現・人体各部の名称				講義	小原		
		9	病歴・アレルギーを尋ねる表現・時の表現				講義	小原		
		10	病気の名前				講義	小原		
		11	薬の用法の説明に必要な表現・頻度の表現				講義	小原		
		12	予約に関する表現・時刻				講義	小原		
		13	手術に関する説明・未来形				講義	小原		
		14	朝の病棟ラウンドの表現・分数				講義	小原		
		15	試験					小原		
評価方法	主に筆記試験で評価する。									
履修上の注意										
テキスト	知念クリスティーン、上瀧真紀恵、クリスティーンのやさしい看護英会話、医学書院									
参考図書										

授業科目	国際社会学	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次後期	担当者	洪 性旭	
								職種		
授業のねらい・目標	1. 社会学の基礎知識を学び、人間の社会的行為、社会集団、家族、現代社会の成り立ちと諸問題等を理解し、社会に対する自覚を深める 2. 国際社会学という分野と、いくつかの主なテーマについて学ぶ 3. 健康・病気と社会とがどのように関わっているかについて学ぶ									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当		
		1	1. オリエンテーション 本授業の目標と進め方、「社会」と「社会学」とは何か等				講義	洪		
		2	2. 社会学とは何か(1) 社会学の基礎概念といくつかの理論モデル				講義	洪		
		3	3. 社会学とは何か(2) 「社会的水準」の理解、社会システム論・社会ネットワーク分析など				講義	洪		
		4	4. 社会調査の方法 社会調査の目的と種類、社会調査の読み方・作り方				講義	洪		
		5	5. 健康・病気の社会格差 社会階層と社会格差、格差と健康の関係など				講義	洪		
		6	6. 健康・病気行動 健康・病気行動論と病経験、病の語りなど				講義	洪		
		7	7. ケアと医療 近代社会におけるケアの意味とその変化				講義	洪		
		8	8. 国際社会学の基礎 国際社会学の問題と基礎概念				講義	洪		
		9	9. 国際人口移動の加速化と多様化(1) 国際的な人口移動に関する基礎概念				講義	洪		
		10	10. 国際人口移動の加速化と多様化(2) 日本の難民受け入れについてなど				講義	洪		
		11	11. 多文化社会への発展と反動(1) 社会統合、多文化主義、社会的結合など				講義	洪		
		12	12. 多文化社会への発展と反動(2) 移民と教育・政治、ナショナリズムとネーションなど				講義	洪		
		13	13. 国境を超える集団と精度 国際社会と人の移動など				講義	洪		
		14	14. グローバル社会の諸相 国内外の社会と移民など				講義	洪		
	15	試験					洪			
評価方法	授業への参加度(40%) + 筆記試験(60%)									
履修上の注意	授業中に数回、グループディスカッションや小テストを行います。積極的に参加すること。									
テキスト	山崎喜比古他, 系看:基礎分野 社会学, 医学書院 樽本英樹, よくわかる国際社会学, ミネルヴァ書房									
参考図書	随時、参考資料を授業中に配布します。									